



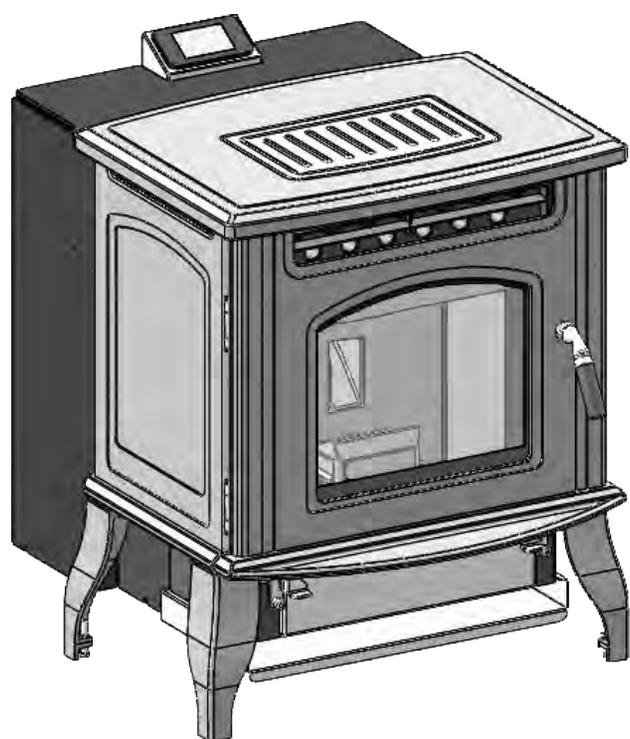
ペレスター
PelleStar
HPS-300

取扱説明書

この度は、ペレスターをお買い上げいただき誠にありがとうございます。

ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しく使用してください。

この取扱説明書は大切に保管してください。



1. 目次

1. 目次	2
2. ペレスターをお使いになる前に	
2-1. ペレスターについて	3
2-2. 設置要件について	3
2-3. 取扱説明をお受けください	3
2-4. メンテナンスについて	3
2-5. ペレット燃料について	3
3. 安全上の注意	4~5
4. 各部の名称	6
5. 仕様書	7
6. コントロールパネル	8
7. アイコン (コントロールパネル)	
7-1. タイマーアイコン	9
7-2. メニューアイコン	9~14
【詳細説明 -1】 プログラムタイマーの登録方法	11
【詳細説明 -2】 プログラムタイマーの各曜日への設定	12
7-3. お知らせアイコン	15
8. コード一覧	
8-1. エラーコード一覧	16
8-2. お知らせコード一覧	17
9. 取扱説明	
9-1. 使用前の準備	18
9-2. 着火前の確認	18~19
9-3. 着火・運転設定	19~20
9-4. 消火	20
10. お手入れ	
10-1. お手入れ用具	21
10-2. 使用後のお手入れ (着火ごと)	21
10-3. 定期的なお手入れ (週一回程度)	22~23
10-4. オフシーズンのお手入れ	23~25
11. 故障かな?と思ったら	26
12. アフターサービス	27
13. 保証書 (無償修理規定)	28

2. ペレスターをお使いになる前に

2-1. ペレスターについて

ペレスターは、木質ペレット（以下ペレット）を燃料とする暖房器具です。

ペレットの燃焼に必要な空気は室内又は屋外から給気します。燃焼後の排気ガスは排気筒を通じて屋外に排気します。（給気は基本的に屋外から取り入れる事を推奨します）

ペレスターの外装は鋳物製です。鋳物から出る遠赤外線輻射熱と、室内の空気を温めた温風によりお部屋を暖めます。

燃焼室ドアガラスからペレットが燃える炎を楽しむことができます。

着火やペレットの供給は自動で行い、火力や温風の調整も可能です。

プログラムタイマーを設定する事で、便利に暖房運転を行う事ができます。

2-2. 設置要件について

ペレスターの設置は、弊社設置基準を必ず守ってください。

2-3. 取扱説明をお受けください

ペレスターの使用前に必ずペレスター販売店より取扱説明を受けてください。

説明を受けると共に、本説明書をよく読み正しく使用してください。

2-4. メンテナンスについて

ペレスターはペレットを燃焼させる為、本体内部や排気管内部に灰が残ります。

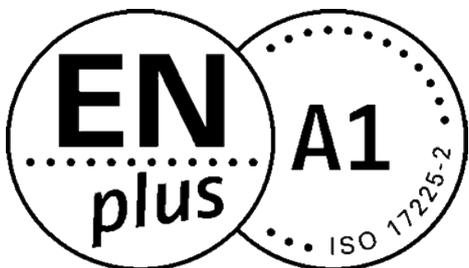
目安として1シーズンに一度、ご購入のペレスター販売店にメンテナンスを依頼してください。

2-5. ペレット燃料について

ペレスターが推奨する燃料は、ISO ENplus の A1 クラスです。

ENplus A1 クラス以外のペレットを使用すると、暖かさや灰の量が想定とは異なる場合があります。

ペレスターの設定変更が必要になったり、使用できない場合もありますので、ENplus A1i 以外のペレットをご使用になる場合はペレスター販売店によく確認して頂き、必ずペレスター販売店が推奨するペレットをご使用ください。



ペレットの品質規格 ISO ENplus

ペレットには原料や形状及び品質を定めた規格があります。また、規格通りにペレットが製造されている事を第三者が確認する第三者認証制度があります。

【ご注意】

ペレスターはペレット専用です。

薪やチップ、ガソリンや灯油等ペレット以外の燃料を使用する事はできません。

ペレット燃料の品質に起因する故障や不具合は保証対象外です。

3. 安全上の注意

ペレスターは、安全性に十分考慮し設計・製造されておりますが、より安全で快適にご使用頂く為に以下の事項についてご注意ください。

ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や家財の損害に結び付く事をまとめて記載しております。

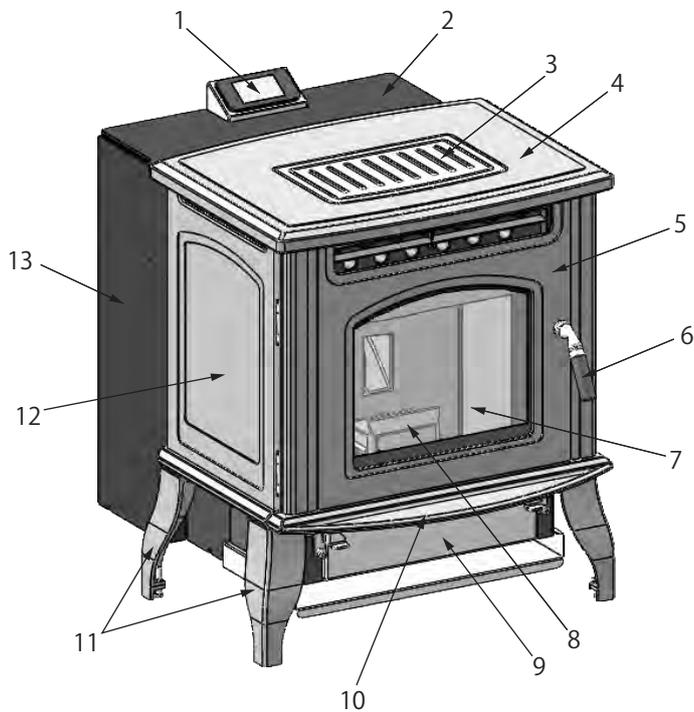
お客様の安全に関する重要な事項ですので必ずお守りください。

	危険！ (リスクレベル III) 深刻な人身傷害または死亡につながります。
	警告！ (リスクレベル II) 人身傷害または環境損傷をひきおこします。
	注意！ (リスクレベル I) 中程度の人身傷害または製品、物的損傷をひきおこします。

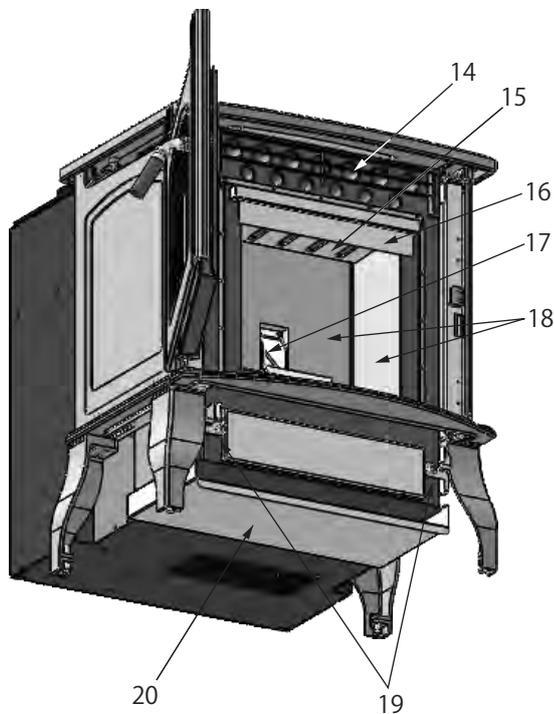
使用燃料は木質ペレット以外厳禁  ペレットタンクには木質ペレット以外の燃料は絶対に入れないでください。 故障、燃焼不良、火災の原因となります。	給排気筒の外れの点検  給排気管が確実に接続されているか必ず点検してください。 運転中に排気ガスが室内に漏れて危険です。
排気筒 / 排気筒トップの閉塞の点検  排気筒やトップが塞がれていない事を運転前に確認してください。 特に積雪の多い地域では注意が必要です。 排ガスが逆流して不完全燃焼の原因となります。	灰受ボックスの点検  灰受けボックスが確実に閉まっているか必ず確認してください。 確実に閉まっていない状態で運転すると、運転中に排気ガスが室内に漏れ危険です。
燃焼室の解放厳禁  燃焼室ドアが確実に閉まっている事を確認してください。 燃焼室ドアに隙間があると排気ガスや炎が室内に逆流し、人身への危険や火災の原因となります。	スプレー缶、可燃ガスの取扱注意  スプレー缶その他可燃ガスが発生するものをストーブに近づけたり使用しないでください。 爆発、火災の原因となります。
対流空気の給排スリットを塞がない  対流空気の給排スリットを塞ぐと熱籠りの原因となり、異常燃焼や不具合の発生、火災の原因となります。	衣類の乾燥厳禁  衣類などの乾燥を目的として使用しないでください。 火災の原因となります。
ライター・マッチ等での着火厳禁  火傷、怪我、火災の原因となります。	着火剤の使用禁止  火傷、怪我、火災の原因となります。
運転中の電源 OFF 禁止  運転中に電源を OFF にすると排気ファンが停止し、燃焼室から煙が漏れる事があります。停電等意図しない場合も含め、室内に煙が漏れ出た場合は速やかに窓等を開け換気してください。	水かけ厳禁  本体や内部に水を掛けしないでください。 ショート、故障、感電、錆の原因となります。

<p>可燃物 (カーテン等) の近接禁止</p>  <p>カーテンや燃えやすい物をストーブ周辺のそばに置いたり保管しないでください。火災の原因になります。</p>	<p>指や異物 (紙類等) を入れない</p>  <p>ペレットタンク内には絶対に紙類等異物を入れないでください。また大変危険なので手や指を奥まで入れないでください。</p>
<p>ペレット燃料供給時は消火</p>  <p>ペレット燃料の供給は、必ず消火し本体が冷えている時に行ってください。火災や火傷の原因になります。</p>	<p>高温部接触注意</p>  <p>自然対流の吹き出しスリットや排気筒などは高温になりますので触れないでください。衣服の損傷や火傷の原因になります。</p>
<p>高温部に注意</p>  <p>燃焼中、消火直後は燃焼室ドア周辺や天板がなどの高温部に手や顔を近づけないでください。火傷の原因になります。</p>	<p>ペレット燃料保管時の注意</p>  <p>風雨の当たらない室内で保管してください。湿ったペレット燃料を使用すると、不完全燃焼や故障の原因となります。</p>
<p>燃焼ポットのたまり着火の禁止</p>  <p>燃焼ポット内にペレット燃料をためた状態で着火しないでください。不完全燃焼や故障の原因になります。</p>	<p>電源プラグのお手入れ</p>  <p>時々、電源プラグを抜き埃の除去や異物の付着の確認をしてください。湿気による絶縁不良を引き起こし火災の原因になります。</p>
<p>長期間使用しない時の注意</p>  <p>長期間使用しない場合、燃料タンクからペレット燃料を抜き電源プラグをコンセントから抜いてください。本体内部の錆の原因になります。</p>	<p>電源プラグコードの保守点検</p>  <p>電源プラグは根元まで確実にコンセントに差込んでください。また束ねたり物を乗せて傷つけたりしないでください。感電や火災や火傷の原因になります。</p>
<p>分解修理、改造の禁止</p>  <p>万が一故障や破損が生じた場合、使用を中止し認定プロショップに修理を委託してください。また、事故の原因となりますので絶対に改造は行わないでください。火災や排気ガスが室内に漏れる原因となり危険です。</p>	<p>お子様や高齢者の使用に注意</p>  <p>お子様や高齢者、体が不自由な方がお使いになる場合は周囲の人が十分に注意してください。火傷や換気不良に注意が必要です。</p>
<p>ストーブに腰掛けたり、物を置かない</p>  <p>ストーブに乗ったり腰掛けたりしないでください。また、物を置く事もおやめください。火災の原因になります。</p>	<p>お手入れの際の注意</p>  <p>ストーブ本体や排気筒が十分に冷えてから行ってください。怪我や火傷の原因になります。</p>
<p>排気筒付近の可燃物近接禁止</p>  <p>排気筒に近接した場所に、灯油やその他引火の恐れがある可燃物を置かないでください。火災の原因になります。</p>	<p>ストーブの外装のお手入れ</p>  <p>クレンザー等研磨剤の入ったクリーナーは使用しないでください。塗装の剥がれや錆の原因になります。</p>

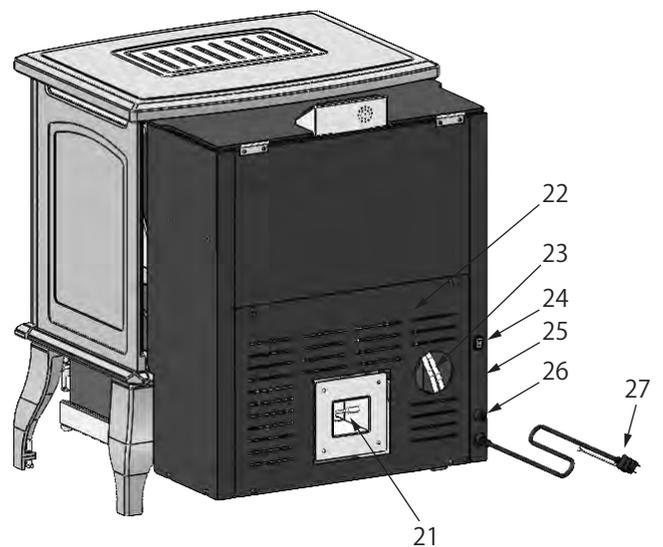
4. 各部の名称



- 1. コントロールパネル
- 2. 燃料タンク+蓋
- 3. ホットプレート
- 4. 天板（鋳物）
- 5. フロントドア（鋳物）
- 6. フロントドアハンドル
- 7. 燃焼室
- 8. 燃焼ポット
（背部に着火ヒーター）
- 9. 灰受皿
- 10. フロントリップ
- 11. 脚（鋳物 x 4 か所）
- 12. サイドパネル（鋳物・左右）
- 13. 燃料タンクサイドパネル
（メンテナンス用・左右）



- 14. 温風送風口
- 15. バッフルプレート
（バーミキュライト）
- 16. エアーカーテンボックス
- 17. ペレットシューター
- 18. 耐火レンガ
- 19. 灰受皿ロック
- 20. 遮熱版

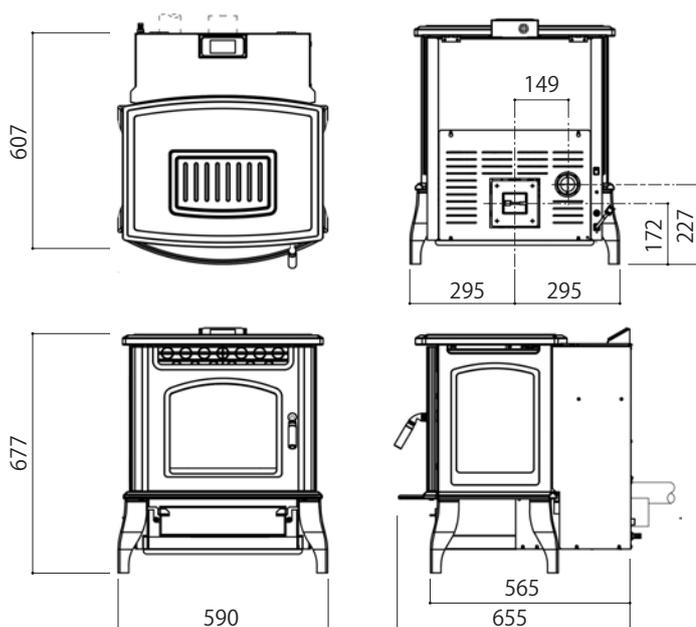


- 21. 排気出口・排気温度センサー
- 22. 背部点検パネル
- 23. 給気ホース取出し口
- 24. 主電源スイッチ
- 25. 室温センサー
- 26. ヒューズ (8A)
- 27. 電源ケーブル (AC100V)
アース端子付

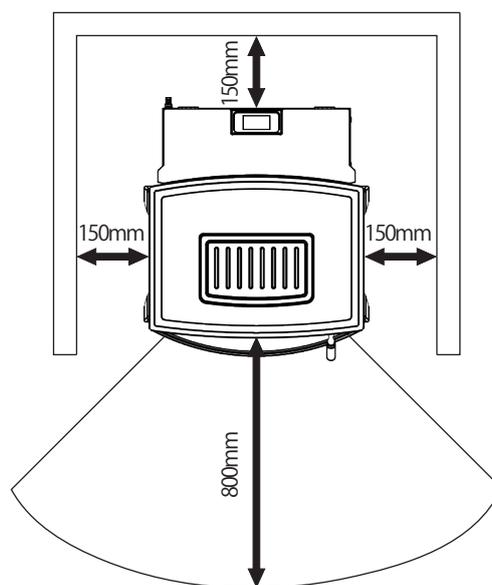
5. 仕様

製品型番	HPS-300	
区分	ペレットストーブ	
種類	燃焼方式	直接送風燃焼式
	排気方式	強制排気型
	用途別方式	強制対流型
点火方式	電気点火 温風点火式	
使用燃料	木質ペレット (ISO ENplus A1 クラス推奨)	
燃料タンク容量	13kg	
暖房出力	最大	7.4kW/h
	最小	2.1kW/h
燃料消費量	最大	1.8kg/h
	最小	0.6kg/h
熱効率	88%	
外形寸法	高さ	677mm(操作パネルまでの高さ 695mm)
	幅	590mm
	奥行き	655mm
重量	160kg	
電源	AC100V(最大電流 4.1A) 50Hz/60Hz	
離隔距離	背面	150mm(推奨)
	側面	150mm(推奨)
	前面	800mm(最低)
定格消費電力	点火時	360W (点火ヒーター 300W、排気ファン 40W、オーガモーター 20W)
	燃焼時	103W
安全装置	点火安全装置、感震スイッチ、燃焼制御装置、過熱防止装置 排気監視装置、電源ヒューズ (8A、管ヒューズ 6.4x30mm)	
付属品	スクレーパー、清掃用ハケ	

【本体寸法図】

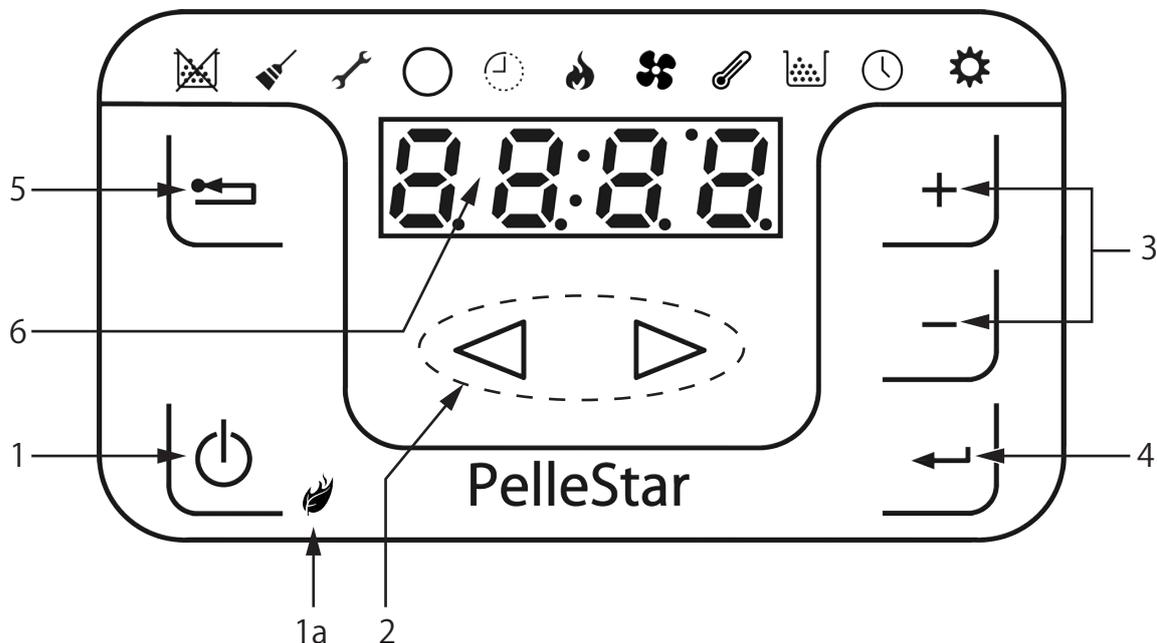


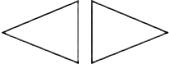
【可燃物からの推奨離隔距離】



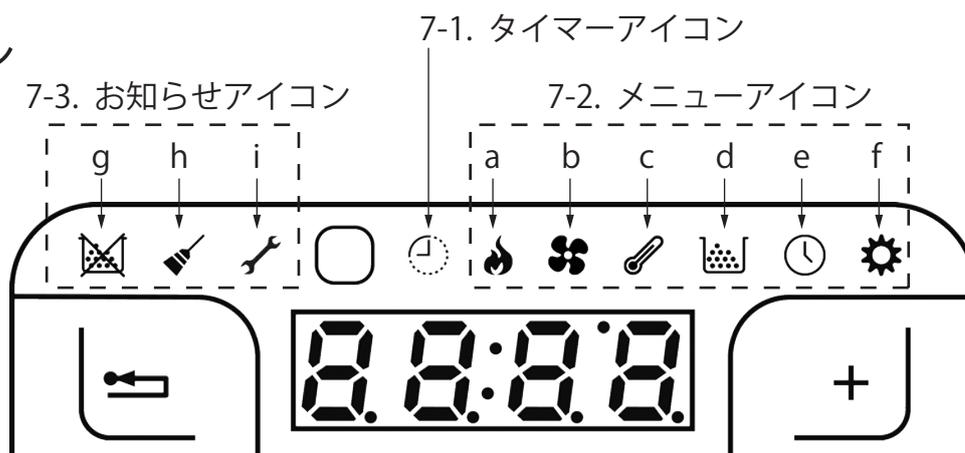
※上記寸法は清掃やメンテナンス性を考慮した推奨離隔距離です。

6. コントロールパネル



各ボタンと機能	
	<p>1. 運転ボタン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2秒間押し続けると着火/消火します。 ・長押しすると点灯した「お知らせアイコン」を消灯できます。 <p>[注意]着火動作中(1a運転ステータスランプの点滅中)は消火しないでください。</p>
	<p>1a. 運転ステータスランプ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消灯：運転停止中、消火中、待機中 ・点滅：着火中(巡航運転到達までの時間表示) ・点灯：巡航運転中
	<p>2. メニュー選択ボタン (▶送る、◀戻る)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボタンを押すごとにメニューアイコンが切り替わります。 ・目的のメニューを選択し、+を押すと各メニュー項目の設定画面に入ります。 ・メニュー項目設定画面内でカーソル位置の変更ができます。
	<p>3. 設定項目選択ボタン (+上げる/進む、-下げる/戻る)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設定項目内で数値を上げたり下げたりします。 ・設定項目内のサブメニューを選択します。
	<p>4. エンターボタン(決定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設定項目の選択 ・設定値の決定 ・サブメニューの選択
	<p>5. キャンセルボタン(戻る)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひとつ前の画面に戻す。 ・入力項目を取り消す。 ・3秒以上押す：最後のエラーまたはアラートメッセージを表示。

7. アイコン



7-1. タイマーアイコン

メニューアイコン	サブメニュー	操作方法
		点灯：タイマー設定 ON 消灯：タイマー設定 OFF

7-2. メニューアイコン (◀▶で a~f の設定項目を選択し、+ | - で各項目のサブメニューを選択。)

メニューアイコン	サブメニュー	操作方法
a. 火力設定		火力設定 (1~4、AUTO) (AUTO=火力 5) ① + - を押すと表示が点滅。 ② + - ボタンで希望の火力を選択。 ③ + - を押すと点灯に変わり設定が確定。 ※ 0 を押すとキャンセルできます。
		出力設定 (kW 表示)
b. 温風量設定		1 ~ 5、AUTO、Hi ① + - を押すと表示が点滅。 ② + - ボタンで希望の火力を選択。 ③ + - を押すと点灯に変わり設定が確定。 ※ 0 を押すとキャンセルできます。 ※AUTO は火力レベルに応じて送風量を自動制御します。 ※1~5 は常時定速で送風します。 ※Hi は急速冷却用ですので、通常はご使用にならないでください。
		設定範囲：5℃～51℃ (基本設定：設定室温+1℃で消火。設定室温-1℃で再着火します) ① + - を押すと表示が点滅。 ② + - ボタンで希望の火力を選択。 ③ + - を押すと点灯に変わり設定が確定。 ※ 0 を押すとキャンセルできます。 ※頻繁に消火と着火を繰り返す場合、設定室温を高めにしてください。
c. 室温設定		排気温度

メニューアイコン	サブメニュー	操作方法
 d. 燃料タイプ 設定		燃料の品質により設定を変更できます。 通常は「1. 標準」でご使用ください。 -1. 標準 -2. 排気ファン-10%…燃え尽きやすいペレット / ペレット投入量少 -3. 排気ファン+10%…燃え尽きにくいペレット / ペレット投入量多 ※設定はサービス店の指示に従ってください。燃焼不具合が起きる 可能性があります。
 e. 日付時刻設定 タイマー設定		現在時刻 / 年月日設定 ①  を押すと「時」が点滅。 ②   ボタンで時刻を選択します。 ③ 数値が点滅している時に   を押すと「分」→「日」→「月」→「年」 →「曜日 (1：月曜日…7：日曜日)」とカーソルが移動します。 ④   ボタンで数値を修正します。 ⑤  を押すと点灯に変わり設定が確定。 ※  を押すと操作をキャンセルできます。
		タイマー：ON / OFF ①  を押すと表示が点滅。 ②   ボタンを押すと ON と OFF が切り替わります。 ③  を押すと点灯に変わり設定が確定。 ※  を押すとキャンセルできます。 ※ON にすると  が点灯し、OFF にすると  が消灯します。
 11 ページ 参照		プログラムタイマー：「着火時刻 / 消火時刻 / 室温」を設定をします。 ※P1 ～ P6 まで 6 パターン設定できます。 ①  を押すと P1 の設定画面になります。 ②  を押すたびにカーソルの点滅箇所が「着火時刻：時」→「着火 時刻：分」→「消火時刻：時」→「消火時刻：分」→「室温設定」の 順に移動します。 ③   でご希望の時刻・室温を設定し、  を押すと確定します。 ※  を押すと設定がキャンセルできます。 ※P1 から P6 まで全て設定する必要はありません。
 12 ページ 参照		タイマー：曜日設定 (d1~d7) ※  で作成したパターンをご希望の曜日に設定します。 ※d1：月曜日、d2：火曜日…d7：日曜日 ※1 日あたり 3 つのパターンを設定できます。 ①  を押すと  (月曜日) が表示されます。 ②   を押すと設定する曜日 (d1~d7) が選択できます。 ③ 目的の曜日を表示させ  を押すと表示が点滅に変わり、   で  で作成したパターン (P1~P6 又は OFF) を選択します。 ④ 表示が点滅している時に   を押すと 2 つ目と 3 つ目の設定 ができます。

【詳細説明-1】 0000 プログラムタイマーの登録方法

操作	プログラム番号選択	
 + x2 0000 - P10	 P10 P20 + P30 - P40  P50 P60	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムタイマーはP1～P6まで6パターン登録できます。 ・P1～P6に登録したプログラムの中からご希望のものを0000で各曜日に設定します。 ・プログラムタイマー番号(P1～P6)は+ - で切替える事ができます。 ・P1からP6まで全て登録する必要はありません。

プログラムタイマー登録例	<ul style="list-style-type: none"> ・P1に8:30着火、11:25消火、設定室温24.5℃に登録 					
	P10	着火時刻		消火時刻		設定室温
	- 8:00	▷	08:30	▷	11:00	▷

- ①P1が表示されている時に -| を押し「時」が点滅します。
- ② +| -| ボタンで希望の着火「時」を設定し、▷ ボタンを押すと点滅表示が「分」に移動。
- ③ +| -| ボタンで希望の着火「分」を設定し、▷ ボタンを押すと点滅表示が消火時刻「時」に移動。
- ④同様に「消火時刻」の設定を行う。
- ⑤消火時刻の設定後 ▷ を押しと設定室温が点滅表示する。
- ⑥ +| -| ボタンで希望の室温を設定し -| を押しと設定が確定します。
- ⑦途中で  を押しと設定内容をキャンセルできます。

[メモ]

- ・室温が設定室温より高い場合、着火せず室温が下がるまで待機状態になります。(運転ステータスランプが点滅)
- ・タイマー運転中も手動による消火/着火をすることができます。
- ・運転中にタイマーによる自動消火を避けたい時はタイマーをオフにしてください。(🕒 → 0000 → OFF)
- (例1)タイマー運転中に手動消火しても、次のタイマーによる着火時刻になるとタイマー着火します。
- (例2)タイマー運転中に手動で消火/再着火しても、次のタイマーによる消火時刻になるとタイマー消火します。

設定内容の控え

プログラム番号	着火時刻	消火時刻	設定室温
P10	:	:	. °C
P20	:	:	. °C
P30	:	:	. °C
P40	:	:	. °C
P50	:	:	. °C
P60	:	:	. °C

【詳細説明 -2】 **[084]** プログラムタイマーの各曜日への設定

操作  + x3 [084] - [081]	プログラム番号選択  [081] (月) [082] (火) [083] (水) [084] (木) [085] (金) [086] (土) [087] (日) 	・[083] で登録したプログラムタイマーを、曜日ごとに3つ迄設定できます。 ・設定後、曜日ごとにプログラムタイマーをOFFにする事もできます。
---	--	---

プログラムタイマー設定例

・ [081] に [CP1] [CP2] [CP3] を登録

	設定なし	1つ目	2つ目	3つ目	- を押し確定 ※1つだけ、2つだけの設定も可能
[081]	- OFF	+ [CP1] ▷ -	+ [CP2] ▷ -	+ [CP3] - -	

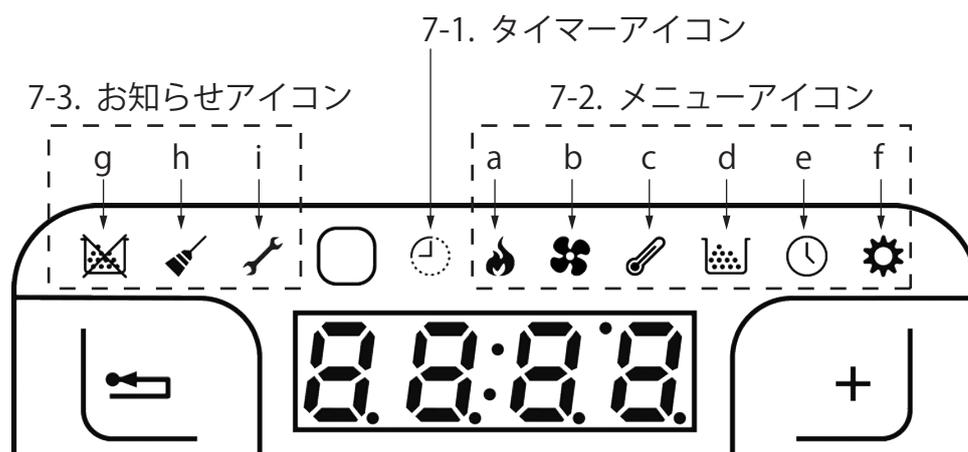
- ① [081] が表示されている時に -| を押すと OFF と表示されます。
- ② +| -| ボタンで希望のプログラムタイマー番号を選択します。
- ③ ▷ ボタンを押すと、2つ目の選択画面に変わります。
- ④ 2つ目のプログラムタイマー番号を選択し ▷ ボタンを押すと3つ目の選択画面に変わります。
- ⑤ 3つ目も同様に設定します。
- ⑥ 1つ又は2つだけ設定する場合、プログラムタイマー番号を選択した後 -| を押すと確定し終了します。
- ⑦ [081] が表示されている時に、+| ボタンを押すと [082] → [083]・・・[087] に切替える事ができます。(-| ボタンで曜日選択を戻す事ができます)

設定内容の控え

曜日	1/3	2/3	3/3
[081] (月)			
[082] (火)			
[083] (水)			
[084] (木)			
[085] (金)			
[086] (土)			
[087] (日)			

メニューアイコン	サブメニュー	操作方法
 f. 設定	[0000]	チャイルドロック ①  を押すと表示が点滅。 ②   ボタンで希望の設定を選択。 ③  を押すと点灯に変わり設定が確定。 ・  設定なし ・  各種設定不可 ・  各種設定不可、ON-OFF 不可 ※  を押すとキャンセルできます。
	[0020]	ディスプレイの明るさ ①  を押すと数値が点滅。 ②   ボタンで希望の明るさを選択します。 ③  を押すと点灯に変わり設定が確定。 ・  (明) ~  (暗)、  ※  を押すとキャンセルできます。
	[0030]	ディスプレイモード (運転中の画面表示選択) ①  を押すと数値が点滅。 ②   ボタンで希望の機能番号を選択します。 ③  を押すと点灯に変わり設定が確定。 ・  選択中のメニューを表示。 ・  現在室温と時刻を交互に表示。 ・  室温表示。 ・  時計表示。 ※  を押すとキャンセルできます。
	[0040]	ビープ音の音量 ①  を押すと数値が点滅。 ②   ボタンで下記希望の音量を選択します。 ③  を押すと点灯に変わり設定が確定。 ・  (大) ~  (小)、  (消音) ※  を押すとキャンセルできます。
	[0050]	温度単位の設定 (摂氏 : °C、華氏 : °F) ①  を押すと数値が点滅。 ②   ボタンを押すと摂氏 (°C) と華氏 (°F) が切り替わります。 ③  を押すと点灯に変わり設定が確定。 ・  ⇔  ※  を押すとキャンセルできます。

メニューアイコン	サブメニュー	操作方法
 f. 設定	[863]	インフォメーション ①  を押すと [1aEa] と表示。 ②  を押すとプログラムバージョンを表示。[200] ※製品改良の為、事前の予告なくプログラムのバージョンアップを行う事があります。 ※  を押すとキャンセルできます。
	[873]	オーガモーターの手動操作 ①  を長押しすると排気ファンとオーガスクリューが動作します。 ②押し続けると 30 秒動作し、自動的に停止します。 ※  を押すとキャンセルできます。 【MEMO】 ・燃料タンクから燃焼ポットにペレットを送るオーガスクリューにペレットが充填されていないと着火エラーがおきます。 >初めてお使いになる時 >燃料切れを起こした時 ・オーガスクリューの清掃や、オフシーズンに燃料を抜く時にご使用になれます。
	[883]	サービスメニュー (販売店・メーカー用メニュー)

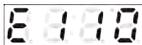


7-3. お知らせアイコン (点灯) ※点滅の場合は「お知らせコード一覧 (P17)」参照

お知らせアイコン	考えられる原因	対処方法
<p>g. 着火ミス</p> <p>着火に失敗した時に点灯します。</p>	①燃料切れ	燃料を補充してください。
	②燃料の詰まり	タンクに燃料があるのに燃料が出てこない場合、オーガスクリュウに燃料が詰まっている可能性があります。 タンクから燃料を抜き、詰まりを解消してください。
	③給排気筒の詰まり	着火時の煙が出るのに着火しない場合、給排気筒が詰まり燃焼用空気が不足している事があります。 詰まりの有無を目視点検してください。
<p>・ (運転ボタン) を長押しするとお知らせアイコンが消灯します。対処方法を試したうえでお知らせアイコンが消灯しない場合、お知らせアイコンがたびたび点灯する場合はお買い求めの販売店にご連絡ください。</p>		
<p>h. 点検要請</p>	①排気温度が高温	排気温度が下がるまでお待ちください。
<p>・ (運転ボタン) を長押しするとお知らせアイコンが消灯します。対処方法を試したうえでお知らせアイコンが消灯しない場合、お知らせアイコンがたびたび点灯する場合はお買い求めの販売店にご連絡ください。</p>		
<p>i. 異常検知</p>	①センサーが異常を検知すると点灯	各種安全装置のセンサーが異常を検知すると点灯します。 ディスプレイに表示されたエラーメッセージを確認し、エラーメッセージ一覧 (P16) に記載されている対処方法をお試しください。
<p>・ (運転ボタン) を長押しするとお知らせアイコンが消灯します。対処方法を試したうえでお知らせアイコンが消灯しない場合、お知らせアイコンがたびたび点灯する場合はお買い求めの販売店にご連絡ください。</p>		
<p>h + i. (同時点滅)</p>	①点検時間に到達	初期値：未設定。 設定した累計運転時間に達すると点滅してお知らせする機能です。ご希望される場合、お買い求めの販売店に設定をご依頼ください。(有償) カウンターをリセットは有償で販売店が行います。

8-1. エラーコード一覧

・対処方法をお試しの上、頻繁に再発する場合はお買い求めの販売店に連絡し点検をご依頼ください。
 ※お知らせアイコンが点滅している時は「8-2. お知らせコード一覧 (P17)」をご覧ください。

エラーコード	エラーの内容／対処方法
	スクリーンエラー コントロールパネルが故障した可能性があります。 メインスイッチを OFF にして、30 秒ほど経ってから再度 ON にしてください。
	IR 通信エラー リモコンの赤外線受光部が故障した可能性があります。 メインスイッチを OFF にして、30 秒ほど経ってから再度 ON にしてください。
	着火エラー (F3) 燃焼ポットを清掃したうえでエラーを解除 (運転ボタンの長押し) し再着火してください。 燃料が正しく供給されているかご確認ください。
	着火前の手動停止／燃焼ポット・給排経路の詰まり 着火前に手動停止させた場合、又は燃焼用空気量が不足している場合に表示されます。 着火前の確認 (P**参照) を行い、再度着火させてください。
	燃料タンク高温エラー 燃料タンクが高温になりセンサーが働き消火モードに入った場合に表示されます。 本体を十分冷ました後、再着火してください。
	負圧センサーエラー 燃焼に必要な排気圧が得られない場合に表示されます。 強風の影響、給排気経路の詰まり、レンジフードの強運転等による室内負圧の影響により表示されることがあります。 給排気筒内の詰まりの確認、レンジフードの停止等を行ったうえで再度着火させてください。
	室温センサーエラー (T01) 室温センサーが故障すると表示されます。 お買い求めの販売店にご連絡ください。
	排気温度センサーエラー (T03) 排気温度センサーが故障すると表示されます。 お買い求めの販売店にご連絡ください。
	排気温度高温エラー 排気温度が設定値を超えると表示されます。 本体を十分冷まし、本体内の清掃及び給排気経路の確認をしたうえで再着火させてください。
	着火エラー (F2) 燃焼ポットを清掃したうえでエラーを解除 (運転ボタンの長押し) し再着火してください。 燃料が正しく供給されているかご確認ください。
	感震エラー (震度 5 前後の揺れを検知) 1 分間に 5 回の揺れを検知すると消火モードに入りエラーメッセージが表示されます。 再着火する前に、本体や排気筒接続部にずれや外れがない事を確認してください。

8-2. お知らせコード一覧

※お知らせアイコンが点滅している場合、 (キャンセル) ボタンを長押しするとお知らせコードが表示されます。

お知らせコード	お知らせコードの内容／対処方法
	<p>メンテナンス警告 (初期値：無効)</p> <p>規定された運転時間に達すると、保守メンテナンス (有償) を実施する様お知らせします。 お買い求めの販売店に保守メンテナンスをご依頼ください。 保守メンテナンス実施時に販売店が運転時間カウンターをリセットします。 ※必要に応じて販売店に設定をご依頼ください。(有償)</p>
	<p>クリーニング</p> <p>排気ガスの温度が規定値を上回るとお知らせアイコンが点滅します。 排気ガス温度の高温状態が続くとエラーが表示され消火モードに移行します。(E113) ※突発的な外因 (強風等) による影響で消火動作に移行する事を避けるための機能です。</p>
	<p>ローバッテリー</p> <p>基板に搭載されている停電補償用の電池 (CR2032) が消耗すると表示されます。 100V 電源が給電されている間はそのままお使い頂けますが、メインスイッチをオフにしたりコンセントを抜くと時刻設定がクリアされます。 お買い求めの販売店に電池の交換をご依頼ください。</p>

9. 取扱説明

9-1. 使用前の準備

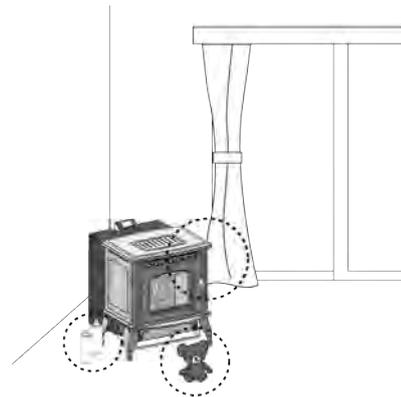
- ①燃料タンクにペレットを入れる。
ペレットはペレットの形状によりタンクの中に残る分があります。
オーガスクリュウが見える場合、燃料不足で消火する事がありますので、着火の前に燃料残量を確認頂き少ない場合は補充してください。
- ②本体背面の主電源を ON(I) にする。(I(in)=ON、O(out)=OFF)
- ③初めてお使いの場合や燃料切れを起こした場合、 (設定)→ (オーガモーターの手動操作)でオーガモーターを動作させ、オーガスクリュウにペレットを充填してください。(14頁「設定」参照)
※一回の操作で30秒動作します。燃焼ポットに十分なペレットが溜まるまで繰り返してください。
※オーガスクリュウにペレットの充填が不十分な場合、燃料不足により着火せずエラーが表示されます。
※オーガスクリュウにペレットが充填されている場合、この操作は不要です。

9-2. 着火前の確認

- ①ペレスター周辺の安全確認
 - ・ペレスターの周辺に可燃物や缶スプレーがない事を確認してください。
 - ・本体の下側に可燃物がない事も確認してください。
 - ・カーテンが本体に接触しないようにお気をつけ下さい。

【可燃物からの離隔距離】

- ・本体前面から 80 cm以上
- ・本体側面・背面から 15 cm以上



- ②燃焼ポットの確認
 - ・燃焼ポットには燃焼用空気が通過するスリットや穴が空いています。
 - ・このスリットや穴が灰やペレットで詰まっていない事を確認してください。
 - ・燃焼用空気の通り道なので、詰まったまま使用すると不完全燃焼を引き起こします。



- ②燃料の確認
 - ・燃料タンクにペレットが十分入っている事を確認してください。
 - ・補充する時はペレットがタンクの外にこぼれないようにご注意ください。
 - ・燃料補充後は燃料タンクの蓋が完全に閉まっている事を確認してください。
 - ・燃料タンク容量は 13kg です。

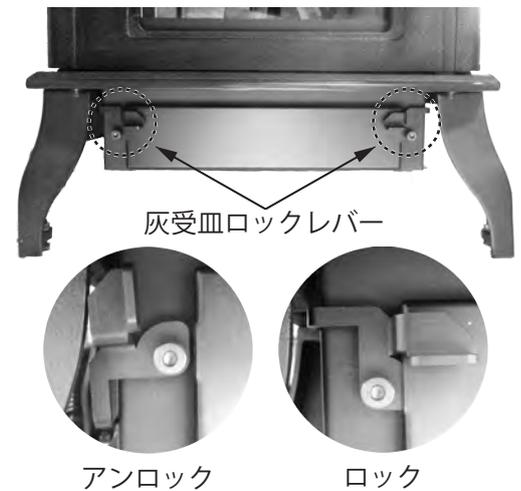
- 【注意】タンクの蓋のパッキンにペレットのかすや埃の付着がない事を確認してください。
パッキンにペレットのかすや埃が付着するとタンクの気密が取れず燃焼不具合を引起す事があります。
タンクの縁にもペレットのかすや埃がない事を確認してください。



④灰受け皿の確認

- ・灰受け皿の左右のロックがしっかりされている事を確認してください。

※灰受け皿が正しく収まっていないと、正しい排気圧力を得る事が出来ず、エラーが発生したり不完全燃焼を引き起こす事があります。



9-3. 着火・運転設定

①  を2秒間押すと着火動作を開始します。

- ・排気ファンが回り、オーガスクリューが動作してペレットの供給を開始します。
- ・着火ヒーターが加熱し、白い煙が出始めたあと5分前後で着火します。
- ・約20分で着火のプロセス(運転ステータスランプ点滅)が終了し、設定した火力に応じた燃焼に移行します。(運転ステータスランプ点灯)

※外気温やペレットの落ち具合で着火迄の時間は前後します。

※白い煙は着火すると収まります。

※特に寒い日は排気筒が温まるまでの間、白い煙のように水蒸気が漂う事があります。

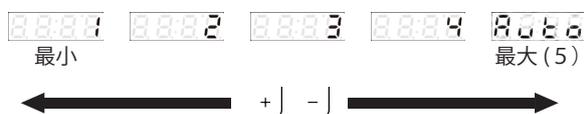
【運転ステータスランプ】



②火力設定

- ・  で  (火力設定) を選択し、 を押すと表示が点滅します。
- ・  を押すと火力設定を1～5に変更できます。
- ・ を押すと点滅が止まり火力が確定します。

【火力設定イメージ】



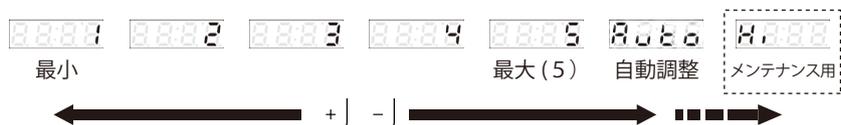
【MEMO】

 は最大火力5を表します。

③温風量設定

- ・◀▶ で  (温風量設定) を選択し、← を押すと表示が点滅します。
- ・+|← を押すと温風量設定を1～5、Autoに変更できます。
- ・← を押すと点滅が止まり変更した温風量が確定します。

【温風量の設定イメージ】



【MEMO】

H000 にセットすると、温風ファンは最高回転で動作します。メンテナンス等急速冷却が必要な時以外は使用しないでください。

- ※Auto に設定すると、火力に合わせて温風量を自動的に調整します。
- ※着火時に温風ファンは動作せず、ストーブが温まると自動的に運転を開始します。

9-4. 消火

① を 2 秒間押すと消火動作にはいります。

- ・画面に  と表示され、運転ステータスランプ  が消灯します。
- ・ペレットの供給が止まり、燃焼ポットに残ったペレットを燃やし尽くします。
- ・数分で炎は無くなりますが、排気温度が規定値に下がるまで排気ファンは動作し続けます。

※消火動作中に主電源スイッチを OFF にしたりコンセントを抜いたりすると、排気ファンが停止し正常に消火動作を完了する事ができません。

消火動作が完了するまで、主電源スイッチを OFF にしたりコンセントを抜いたりしないでください。

【運転中にペレットが切れたら・・・】

- ・運転中にペレットが切れるとエラー  が表示されます。
 を 2 秒以上押し運転を終了してください。
- ・運転停止後に  を 2 秒以上押し、エラー表示とお知らせアイコンを消してください。
- ・消火動作の終了を待ち、ペレットを燃料タンクに補充してください。
- ・「9-2. 着火前の確認」(17 頁) を行ったうえで着火させてください。

10. お手入れ

10-1. お手入れ用具

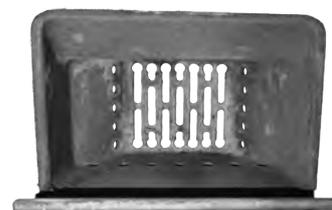


10-2. 使用後のお手入れ

使用後のお手入れは、本体が十分に冷めた事を確認したうえで行ってください。
燃焼中に本体は高温になりますので、火傷をしたりガラス破損の原因になりますのでご注意ください。

10-2-1. 燃焼ポットの清掃

- ・ 燃焼後にペレットの灰や煤が燃焼ポットに残ります。
- ・ 付属のハケやペレットストーブ専用掃除機を使用して清掃してください。
- ・ 燃焼ポットにあけられているスリットや穴が詰まると、燃焼用空気が不足して不完全燃焼の原因となりますので竹串等を利用して取り除いてください。



燃焼ポット

10-2-2. 給気ボックス、着火ヒーター

- ・ 燃焼ポットが収まっているボックスは燃焼空気を給気するスペースになっており、この中にも灰が堆積します。
- ・ 奥側に着火ヒーターが収まっている筒がありますので、この筒に付着した灰も除去してください。

※ペレットストーブ専用掃除機があると簡単に清掃出来ます。



給気ボックス



着火ヒーター

10-2-3. 燃焼室ドアガラス

- ・ 燃焼により燃焼室ドアガラスにも灰が付着し白っぽく曇ってきます。
- ・ 濡らした雑巾やペーパーで拭いた後、空拭きをしてください。
- ・ タール状の汚れが付着し水拭きしても落ちない時は、灰を少しつけて水拭きすると綺麗になります。

※不完全燃焼を起こすと燃焼室ドアガラスが黒く煤けます。
うっすら黒くなる分には問題ありませんが、炉内が見えないほど黒くなる場合は給排気経路の点検を行ってください。
粗悪なペレットを燃焼させた場合も同様な状況を引起します。



10-3. 定期的なお手入れ (週一回程度)

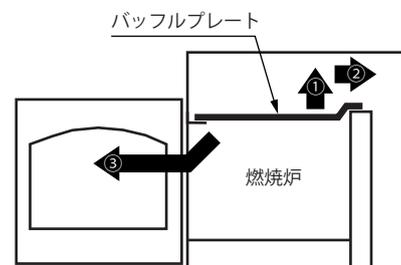
定期的なお手入れは、本体が十分に冷めた事を確認したうえで行ってください。
 燃焼中に本体は高温になりますので、火傷をしたりガラス破損の原因になりますのでご注意ください。

10-3-1. バッフルプレートの清掃

- ・ 燃焼室上部のバッフルプレートを取外し、バッフルプレートの上に堆積した灰を清掃します。

【バッフルプレートの取外し方】(右図参照)

- ① バッフルプレートの後部を少し持ち上げます。
- ② そのまま後方にずらします。
- ③ 手前側がリブより外れたら、ゆっくり手前に引き出します。



1. 後方を少し上に持ち上げます。
2. 持ち上げたまま奥側に少しスライドさせます。

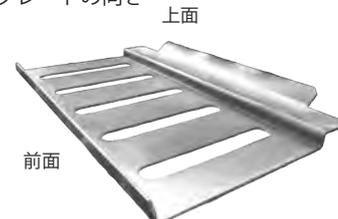
3. バッフルプレートの手前側がリブより外れたら、ゆっくり手前に引き出します。
 ※ バッフルプレートの上に堆積した灰が落ちますのでご注意ください。

※ 取外し時にバッフルプレートの上に堆積した灰が落ちますので、新聞紙等で床を保護してから作業してください。

※ バッフルプレートの幅は、左右の耐火レンガの内寸法で作られています。

殆ど余裕がありませんので、引き出す際は真っ直ぐ引き出してください。

バッフルプレートの向き



10-3-2. 灰受皿の清掃

- ・ 灰受皿には燃焼により発生した灰が溜まります。
- ・ 灰受皿の左右にあるロックを解除して手前に引き出します。
- ・ 灰受皿を抜き取り、ペレットストーブ専用掃除機で溜まった灰を清掃してください。
- ・ 灰受皿の収納スペースにも灰が溜まりますので、刷毛で掃きながらペレットストーブ専用掃除機で吸引してください。
- ・ 灰受皿を元の位置に納め、左右のロックを掛けてください。(ロックが掛かる位置が正しい収まり位置です)

※ 灰受皿を引き出す際、灰が落ちますので新聞紙等で床を保護してから作業してください。



灰受皿の清掃



ロック



アンロック



灰受皿収納スペースの清掃

10-3-3. 灰の処分

- ・一般的に灰は普通ごみとして出す事ができます。(自治体により扱いが異なる事があります)
- ・灰の中に火種が残っている事がありますのでご注意ください。
- ・廃棄する際に安全の為、灰は不燃性の器に一晩以上保管したうえで処分してください。

10-4. オフシーズンのお手入れ

オフシーズンのお手入れは、一部工具を使用したり破損させやすい箇所があります。
排気筒の清掃を含め、お買い求めの販売店の有償のオフシーズンメンテナンスを受ける事をお勧めします。

10-4-1. 燃料タンクを空にする

ペレットは湿気を含むと粉になってしまい、オーガスクリーパーが詰まる事がありますので、シーズンの終わりにはペレットを燃やしきって燃料タンクを空にしてください。

- ①不意なオーガの動作による怪我を防止する為に、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。
- ②不要なコップ等の容器を使用してペレットを取出してください。
- ③タンクの底におが粉が溜まっていますので、ペレットストーブ専用掃除機で吸引してください。

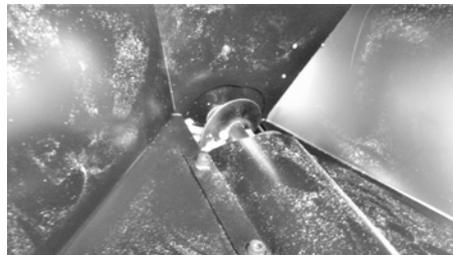
※お手入れ時には床の汚れ防止の為に新聞紙等を敷いてください。



ペレットの抜き取り



タンクの底に堆積したおが粉



おが粉除去後

10-4-2. 燃焼炉内の清掃

- ①バッフルプレートを取り外します。(P22「10-3-1. バッフルプレートの清掃」参照)
- ②エアカーテンボックスを外します。

エアカーテンボックスを固定している M4 六角ボルト x 2 本を外すと取り外せます。(下図参照)

エアカーテンボックスは燃焼室ドアガラスに汚れが付着しにくい様に燃焼炉内の空気の流れを整流する部品です。



エアカーテンボックス



左右 2 箇所のボルトを外します。
(M4 六角ボルト x2 本)



固定部拡大図
(3mm 六角レンチ使用)

③耐火レンガ(バーミキュライト)の取外し

- ・背面→側面の順に取り外します。
- ・背面の耐火レンガは背面のフックで引っ掛けてあるので、ペレット投入口の穴を利用して上に持ち上げ手前に倒しながら引き抜きます。
- ・側面の耐火レンガは背面の耐火レンガで固定されていますので、背面の耐火レンガを外した後、内側に倒しながら手前に抜き出します。
- ・耐火レンガや耐火レンガの背面に堆積した灰を刷毛で掃きながらペレットストーブ専用の掃除機で清掃してください。



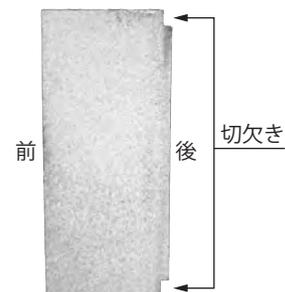
耐火レンガ(背面)フック



耐火レンガ(背面)の抜き取り



耐火レンガ(側面)の抜き取り



耐火レンガ(側面)の形状

※耐火レンガは消耗品です。強い衝撃を与えると割れる事がありますので、取り扱いに注意してください。
特に背面の耐火レンガはスチールフレームに取付けられており、取外し時に滑り落ちる事があります。

④熱交換パイプの清掃

- ・バッフルプレートの上側に温風用の熱交換パイプがあります。
- ・熱交換パイプの上にも灰が堆積しますので、ペレットストーブ専用掃除機で吸引しながら刷毛で取り除いてください。



熱交換パイプの清掃

10-4-3. エアカーテンボックスの清掃

- ・10-4-2 で取り外したを清掃します。
- ・エアカーテンボックス内に堆積した灰とストーブ本体側の給気パイプ内の灰を掃除機で吸引してください。



エアカーテンボックス ストーブ本体側給気口



エアカーテンボックス給気口

10-4-4. 炉内部品再取付

- ・清掃が完了したら逆の手順で取り外した部品を組み込んでください。

10-4-5. 灰受皿・収納スペースの清掃

- ・灰受皿に溜まった灰を清掃します。
 - ・灰受皿の収納スペースに堆積した灰を清掃します。
- ※灰受皿の収納スペースは排気経路を兼ねています。

奥に排気経路の四角い穴がありますので、懐中電灯で確認しながら灰の堆積や詰まりが無い事を確認してください。



灰受皿の清掃



灰受皿収納スペースの清掃

10-4-6. 電源プラグとコンセントの点検清掃

- ・電源プラグやコンセントに付着した埃を清掃してください。
- ※電源プラグやコンセントに埃を付着したままご使用になると湿気によるトラッキング現象を起こし火災の原因となります。
- ※誤作動やサージの影響による故障を防止する為、オフシーズンは電源プラグをコンセントから抜いてください。
(落雷によるサージ等自然現象に起因する故障は保証期間内でも保証対象外です。)

11. 故障かな？と思ったら

- ・不具合や異常が発生したら、以下の項目を確認してください。
- ・対処方法を試して頂いても、頻繁に同じ症状が発生する時は使用を中止しお買い求めの販売店にご連絡ください。

現象	考えられる原因	対処方法
電源が入らない	電源プラグがコンセントから抜けている。	電源プラグをコンセントに確実に差ししてください。
	主電源スイッチが OFF(O) になっている。	主電源スイッチを ON(I) にしてください。
ペレットが落ちてこない	燃料タンクのペレットがなくなった。	ペレットを補充してください。 17 ページの「9-1. 使用前の準備－③」の手順に従って操作したうえで再着火してください。
	オーガスクリーにおが粉や異物が詰まった。	タンクからペレットを抜き清掃してください。 症状が改善しない場合、お買い求めの販売店に点検を依頼してください。
着火しない	ペレットが湿気ている。	ペレットを入れ替えてください。
	燃焼ポットのスリットや穴に灰が詰まっている。	燃焼ポットを清掃し、詰まりがない事を確認した上で再着火してください。
	燃焼ポットが正しく収まっていない。	燃焼ポットを正しく装着し再着火してください。
	着火ヒーターが切れた	燃焼ポットにペレットが正常に溜まっているにもかかわらず着火しない場合、着火ヒーター切れが考えられます。 お買い求めの販売店にご連絡ください。
	灰受皿が完全に閉まっていない	灰受皿の左右のロックがしっかり掛かっている事を確認の上再着火してください。
着火中に大量に煙が出た	燃焼ポットにペレットが残っていた	一旦消火させ、運転が停止した事を確認の上再着火してください。
	灰受皿が完全に閉まっていない	灰受皿の左右のロックがしっかり掛かっている事を確認の上再着火してください。
燃焼中に火が消えた	燃料タンクのペレットがなくなった。	ペレットを補充してください。 17 ページの「9-1. 使用前の準備－③」の手順に従って操作したうえで再着火してください。
	推奨品以外のペレットを使用した	推奨品以外のペレットを使用する場合、予めお買い求めの販売店にご相談してください。

12. アフターサービス

12-1. 製品の保証について

- ・ペレスターの保証期間はご購入の日から1年間です。
- ・本取扱説明書の巻末に付属している保証書にお買い求め日と販売店名が記入されている事をご確認ください。
未記入の場合、保証期間中の無償修理規定が適用されない事があります。
- ・ご使用前にお買い求めの販売店より取扱説明をお受けいただき、本取扱説明書をよくお読みください。
- ・間違った取り扱いにより発生した不具合は、保証期間中でも有償となります。
- ・消耗部品は保証期間中でも有償となります。
(主な消耗部品：耐火レンガ、燃焼ポット、燃焼室ドアガラス、各部ガスケット等)
- ・メーカーおよび販売店の推奨品以外のペレットをご使用になった事による不具合も保証対象外となります。

12-2. 補修用性能部品について

- ・補修用性能部品とは、ペレスターの機能を維持する為に必要な部品です。
- ・ペレスターの補修用性能部品は、製造終了後7年間保有します。

12-3. 修理の依頼について

- ・最初に24頁の「11. 故障かな?と思ったら」をご確認頂き対処方法をお試しください。
- ・対処方法を試しても症状が引き続き発生する場合、ご使用を中止しお買い求めの販売店にご連絡ください。

ご連絡の際は、保証書に記載されている

- ①機種
- ②製造番号
- ③ご購入日
- ④不具合の内容

どの様な時に不具合が発生したか?断続的に発生する場合そのタイミング。音の場合は音質等できるだけ具体的にお伝え頂ください。

また、動画をご用意できる場合はご提供頂けますと更に迅速な修理対応ができます。

12-4. オフシーズンメンテナンス(有償)

- ・年1回オフシーズンになりましたら販売店によるオフシーズンメンテナンス(有償)をお受けください。
- ・木質燃料を燃焼させるペレットストーブは、本体内部や排気筒内に煤灰が堆積しますが日常のメンテナンスだけでは取り除けない箇所があります。本体のガスケットの状態や給排気経路の状態を含めた診断が出来ますので安心安全にお使い頂く為に販売店のオフシーズンメンテナンスを受ける事をお勧めします。
- ・秋口はメンテナンスの依頼が集中しますので早めのご依頼をお勧めします。

12-5. 転居する場合

- ・新居に移設をご希望の場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。
- ・設置場所に残す場合は、本取扱説明書も新しい入居者にお渡しください。

12-6. 廃棄する時

- ・お買い求めの販売店にご相談のうえ、各自治体の規定に沿った処分をおこなってください。

保証書

本保証書は、下記無償修理規定により保証期間内に無償修理を行う事をお約束するものです。
保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示の上お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。

保証期間： ご購入日から 1 年間	販売店名・住所・電話番号：
ご購入日：	
機種名： HPS-300	
製造番号：	
お客様名：	
ご住所（ご使用場所）	 製造・販売元：豊実精工株式会社 〒501-3303 岐阜県加茂郡富加町羽生 2146-2 TEL 0574-55-0080 FAX 0574-55-0081
お電話：	

無償修理規定

- 取扱説明書の記載事項や、販売店の取扱説明に従った正しい使用状態において故障が発生した場合、お買い求めの販売店または弊社指定店が無償で修理いたします。
- 取扱説明書に記入してある販売店に修理を依頼できない場合は、弊社までお問合せください。
- 保証期間内でも次の場合は有償となります。
 - 取扱説明書の記載事項や、販売店の取扱説明に従わない誤った使用をした場合や、不当な修理や改造により故障や損傷が発生した場合。
 - お買い求め後の弊社販売店以外による設置場所の移動や落下等による故障や損傷。
 - 火災、地震、水害、落雷、天変地異、異常電圧等の環境要因による故障や損傷。
 - 推奨以外のペレット使用による故障や損傷
 - 保証書の提示がない場合
 - 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名等の記入漏れがある場合。
 - 消耗部品の消耗に起因する故障・損傷の修理及び保守点検のメンテナンス費用。
- 本保証は日本国内においてのみ有効です。
- 本保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。